

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/08/08号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 需要不安で戻り売り、ウクライナ危機後の最安値

NY原油先物相場は、1バレル=89ドル水準まで軟化する展開になった。米中の7月製造業指標が低調な数値になったことを受けて、改めて需要不安の織り込みを迫られた。また、ペロシ下院議長の訪台を受けて、台湾情勢が不安定化していることも新たな需要リスクとして警戒されている。米原油在庫の増加もネガティブ材料視され、90ドルの節目割れからウクライナ危機後の最安値を更新している。石油輸出国機構（OPEC）プラスは8月3日、9月の生産枠を日量10万バレルの引き上げに留めることを決定したが、原油相場の押し上げ効果は一時的だった。

台湾情勢が急速に緊迫化している。ペロシ下院議長の訪台に強く反発した中国は、台湾周辺で大規模な軍事演習を展開している。台湾有事のリスクの高まりに留まらず、米中関係も急速に悪化しており、实体经济環境に対する影響が警戒されている。7月の中国製造業PMIが前月の50.2から49.0まで低下していたこともあり、中国経済の減速懸念の織り込みが、原油相場を圧迫している。

米エネルギー情報局（EIA）の米原油在庫（7月29日時点）は、原油が前週比447万バレル増、ガソリンが16万バレル増、石油精製品が240万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

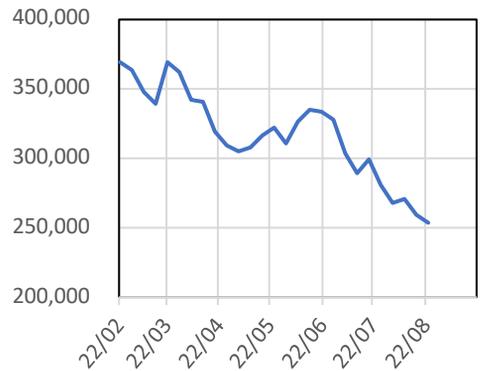
## 需要不安の消化を進める、供給不安の蒸し返しには注意

需要不安と供給不安が交錯する不安定な地合が続くが、改めて需要リスクに対する関心が高まっていることが上値を圧迫する。世界経済の減速懸念が高まっていることに加えて、台湾情勢の緊迫化に対する警戒感も強い。前週に続いて経済指標の下振れや、台湾情勢の緊迫感を更に高める動きがみられると、90ドルが支持線から抵抗線に転換し、このまま85ドル水準まで下値切り下げが打診される。

8月11日には国際エネルギー機関（IEA）とOPECの月報が発表される。ここで需要見通しの大幅な下方修正が行われた際にも、下振れリスクは高まる。また、8月10日に7月米消費者物価指数が発表されるため、高インフレ環境に対する警戒感を高めるような動きがみられると、米金利上昇・ドル高圧力が上値を圧迫するリスクを抱えている。インフレの暴走リスクが再燃すると、資産価格全体に対して下押し圧力が強まり易くなる。

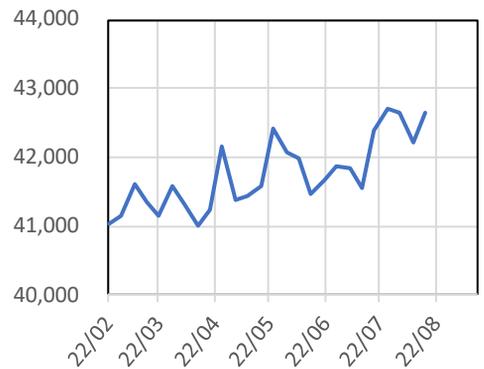
一方、OPECプラスは米国の増産要請にもかかわらず、9月は僅か日量10万バレルの増産に留める方針を示している。需要見通しの悪化に対応したものであり、かつ、米国の政治的圧力で増産対応は行わないスタンスが再確認されている。OPECプラスは更に、余剰生産能力の欠如で大規模供給障害、そして今後の需要拡大圧力への対応力が失われていることに強い危機感を示している。また、経済協力開発機構（OECD）加盟国の在庫が27.12億バレルと、前年同期を1.693億バレル、2015～19年平均を2.36億バレル下回っていることも報告している。戦略石油備蓄が30年ぶりの低水準にあることにも危機感を示している。こうした供給サイドのリスクが再評価されると、押し目買いが膨らむ可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



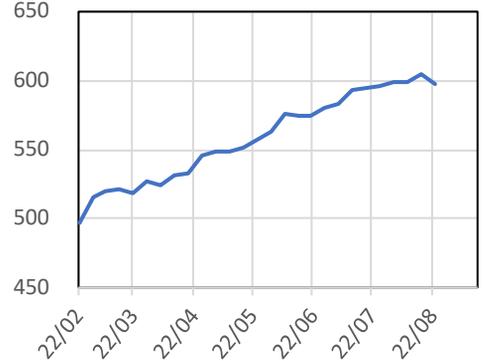
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

